

フォレストニュース

植林が地球を救う

令和2年(2020)7月10日

No. 151

発行 高津啓洋

春に向かっての準備

パラグアイ国のレダも、7月に入ると寒い日があります。冷たい南からの(南極からとインデヘナの人は言います)風で、淡雪も降ることともあり、人も動物も植物も凍える季節です。4℃以下の気温に、日中も10℃といったこともあります。数日寒いかと思うと、30℃以上の気温に汗だくとなるといった感じの繰り返しです。

そんな中でも、6月になると首都のアスンシオンからラパッチョ(イペー)の花が咲きだしたとのニュースが新聞に載るようになります。7月8月には、国中がピンク色となる季節が来ます。日本人移住者は南米桜といって、日本の桜のように花の咲くのを楽しみにしています。レダもその季節になるとラパッチョが、敷地の各所に花を咲かせます。

レダの植樹園は、皆様からの支援によって多くの木々が植えられています。春を前に、その周りには草や、樹木の種子なども多く、動物の格好のえさ場となるために、定期的に、動物が入らないように



補修が必要です。

ニームの苗木を譲ってほしい

ニームの苗木をバイアネグラやオリンポの市役所が購入を希望しています。

私たちが、ニーム協会の協力を得て、本物のニームの苗木を植樹し始めて、13年以上がたちます。各地でニームの早期での成長と、街路樹としての有用性、またニームが害虫等に対する忌避効果が知られていて、この運びとなったものです。

パラグアイ川を上下する貨客船



出荷を待つニームの苗木200本

(アキダバン)に乗ると、各地(オリンポ、ディアナ、バイアネグラ、そしてレダ)に大きく成長したニームの街路樹を目にすることができます。(伊達記)

セミナーは10月3日

新型コロナウイルスのためにセミナーが再延期となりました。

日時：10月3日(土)

1部 10:00受付、10:15開始。

2部 12:30受付、12:45開始、16:00終了。

国立オリンピック記念青少年総合センター：センター棟

参加希望の方はFaxやメールにてご連絡ください。

講師を務める、高津啓洋理事長から、「コロナウイルスや豪雨等で移動が困難ですが、10月には皆様とお会いできることを楽しみにしています」とのことです。

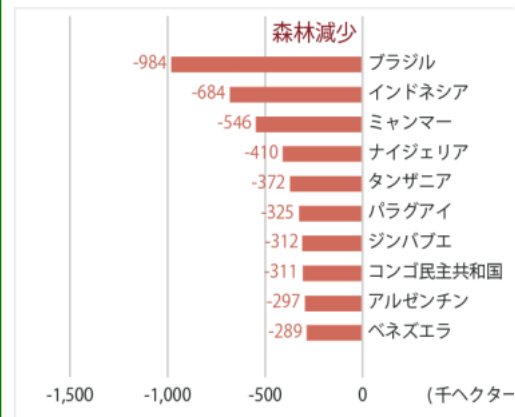
フォレストレター

2020年7月10日

●データから見る森林減少の深刻度

パラグアイ国は、森林伐採等による森林減少速度が早い国として心配されています。

国別にみると、2010年から2015年までの間に森林の減少が大きかったのは、ブラジル、インドネシア、ミャンマー、ナイジェリア、タンザニア、**パラグアイ**、ジンバブエなどです。

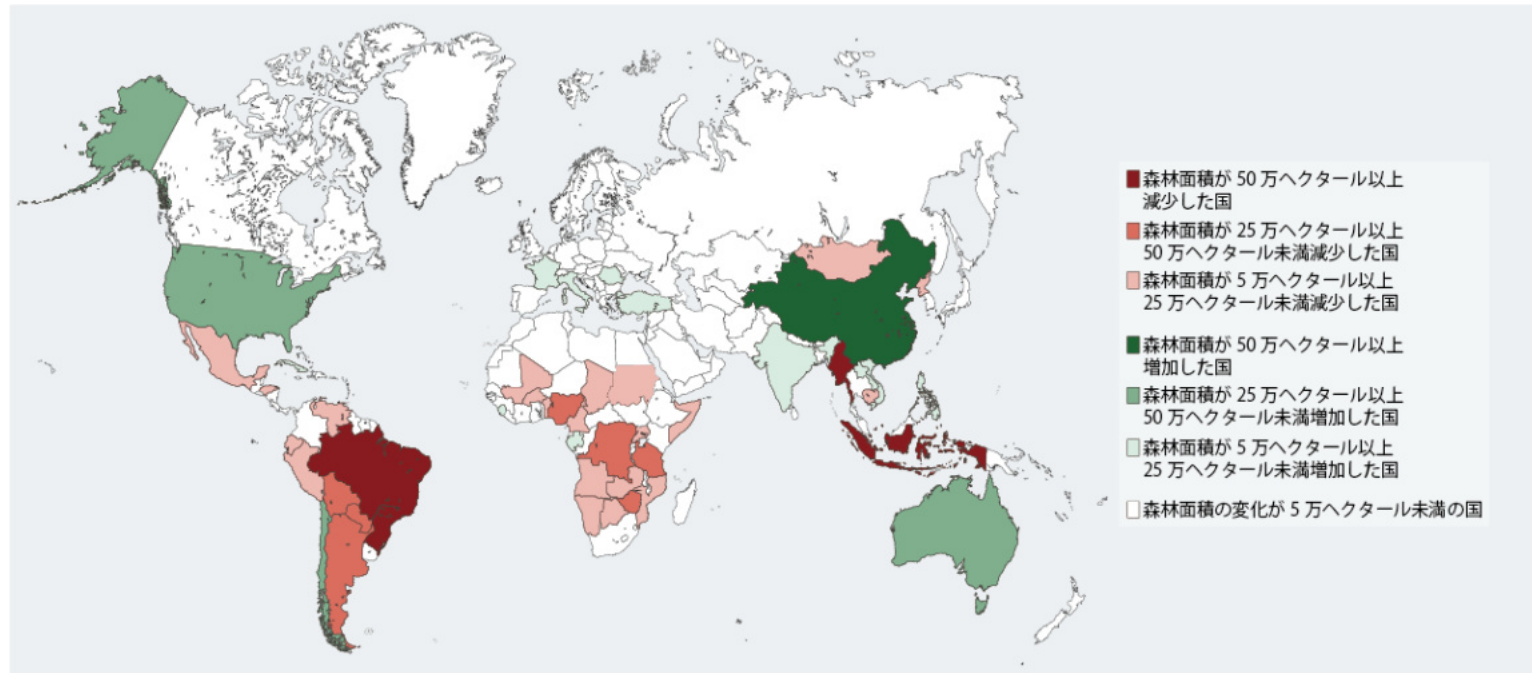


森林面積の変化の大きな国10カ国（2010～2015年）上のグラフ

国連食糧農業機関（FAO）（2015年）「Global Forest Resources Assessment 2015」より作成・環境省から

●世界の森林の現状

世界の森林面積は約39.9億ヘクタールで、全陸地面積の30.6%を占めています（2015年）。しかし、世界の森林は減少を続けており、



毎年330万ヘクタールが減少しています（2010年から2015年までの平均の純変化）。

特に、南アメリカ、アフリカなどの熱帯の森林を中心に減少面積が大きくなっています。一方、アジア、ヨーロッパを中心として森林面積が増加している国も見られます。森林面積の増加と減少には、地域的な偏りが見られます。

世界の森林面積の国別純変化（2010～2015年、年平均）上の図

国連食糧農業機関（FAO）（2015年）「Global Forest Resources Assessment 2015」より作成・環境省から

●森林の持つ大切な役割

◎生物多様性の保全

森林には、樹木や草花などの多くの植物

が生育しています。さらに、その植物の花や実を餌としたり、樹の幹や土の中などをすみかにしている動物がたくさん生息しています。これらの生物は森林という空間で非常に密接で複雑な関係を築き上げています。このため、たとえ森林が破壊されずに維持されたとしても、伐採などによる疎林化や断片化などの森林空間の変化は、そこに暮らす生物に大きな影響を与えかねません。

このように、森林は生物多様性を保全する上で重要な役割を担っています。

出典：国連食糧農業機関（FAO）（2015年）「Global Forest Resources Assessment 2015」・環境省から

●気候変動の緩和

樹木は光合成によって二酸化炭素を吸収し、炭素を樹木内に蓄積します。また、

落ち葉などの堆積有機物は微生物の働きによって徐々に分解されますが、しばらくの間は炭素を地表に貯留するため、二酸化炭素の大気放出は緩やかになり、さらに一部は高分子化合物として土壌の構成物となることで大量の炭素を貯留することになります。

気候変動に関する政府間パネル（IPCC）の第5次評価報告書によると、世界の温室効果ガス排出量の約11%は、森林が農地など他の用途に転用されたことによるものとされています。また、気候変動の進行に対応し、森林を含む陸域、淡水及び海洋にすむ多くの生物は、生息域や季節的活動、移動パターン、生息数及び生物種間の相互作用を変移させているとされています。

国際的な森林保全対策から環境省から